

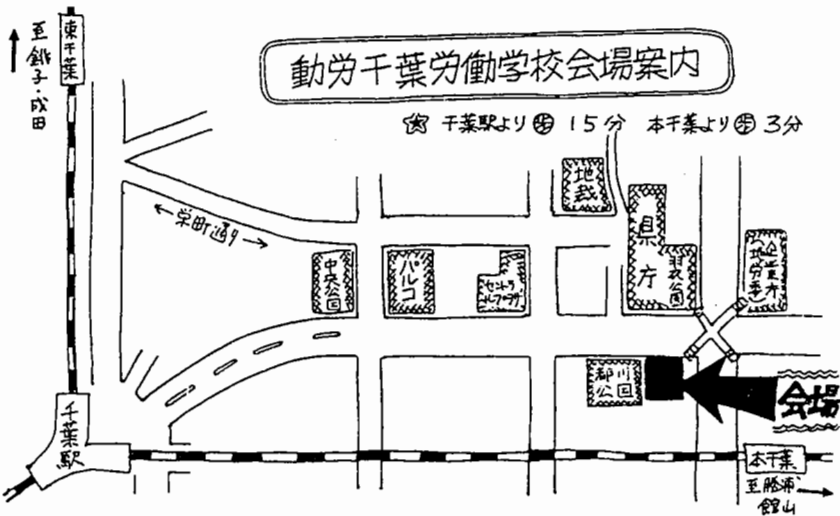
三期講座はじまる！ 労働学校へ

日時 **8月27日 10時～**
場所 **千葉県職員会館** (千葉県庁横 303号室)



第1回講座 (第一夜)
「職場活動・職場抵抗闘争入門」
奪われた権利を奪い返すために
(講師) 布施宇一 動労千葉書記長 (第二講座)
「労働者の権利と不当労働行為」
国鉄分割・民営化体制粉碎のために
(講師) 中央大学法学部助教授 近藤昭雄氏

多くの組合員の参加を!



労働運動、労働組合そのものを否定し、解体しようとするJR当局の攻撃のなかで、攻撃の本質を見極め、労働者解放の思想をうち

鍛え、闘いの路線を学ぶ労働学校のもつ意義はますます重要とされています。
第一回は、「職場活動、職場抵

抗闘争入門」「労働者の権利と不当労働行為」全力で集ろう!



1988 国鉄労働者闘いの記録
Document 激
16ミリ・カラー(1時間37分) 監督 渡部幸雄

製作/動労千葉闘争記録製作委員会・らんる新社
お問い合わせ...「激」製作上映委員会 千葉市要町2の8 動力車会館 TEL 0472(22)7207

◇9月2日(金) 午後6時 南場
◇千葉市民会館 小ホール

これこそ労働者の映画だ!
〈全国で絶賛の声〉
ストライキを行なうことに力強い勇気が与えられ、自分自身が参加しているような爽快感を覚えた。(国労組合員)
「時がたては忘れてしまふこともある」しかし、国鉄労働者にとって分割・民営化攻撃を忘れることは出来ない。忘れてはいけない。激は、そのことをしっかり映像に残してくれている。(動労水戸組合員)
闘う国鉄労働者の生身の姿、人間性が見てにじみでいる。闘争の根源的な力を見た。感動が胸をうつつ。(牧師)

1987年4月、国鉄分割・民営化から88年6月、動労千葉第3波ストまでの記録映画「激」(16ミリカラー 1・1/2時間37分。監督・渡部幸雄)がついに完成した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

日刊 動労千葉

1988.8.23
No. 2878

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二五三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七